

◆ 11月分は、井原氏が、自分でワープロで打って来て下さった。

二〇〇〇年十一月十二日（日）第四〇五回・憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会

事務局 浜松市紺屋町三〇一〜十五

死に至る病（戦争・環境破壊）に取りつかれた

二〇世紀よ、サヨーナラ、サヨーナラ！

◆ 死に至る病の第一は、戦争という名の殺人と破壊です。

二〇世紀は「戦争の世紀」でした。わが日本も五〇数年前、太平洋戦争を起して焼け野原になりました。それでも懲りず、また自衛隊（軍隊）を作り、現在、年間五兆円近い膨大な軍事費を使っています。これは、一日約百二〇億円の無駄づかいです。これを「介護」に回せば、国民から高い保険料を取る必要が全くなくなるのです。

◆ 今、世界全体の軍事費は、一年間に約百五〇兆円です。毎日、約四千四百七十七億円の無駄づかいです。この中には、核兵器約二万メガトン（広島型の百六〇万発分）や、新兵器の開発費も含まれています。このまま進めば全人類は、間違わずに滅びます。

軍備は戦争のためにある以上、戦争に勝つためには相手より強力な兵器を必要とします。その結果、ついに人類を滅ぼす核兵器まで大量に作ってしまいました。これが愚かな二〇世紀の姿です。

◆ 死に至る病の第二は「環境破壊」です。先日、オランダのハーグで温暖化防止国際会議が開催されました。地球温暖化一つ取ってみても、二〜三度上昇すれば、海水面が上昇し、低地の都市・島・農地などが水没し、世界規模で食糧難（六〇%減）や、住宅難が世界を襲うでしょう。

更に、オゾンホールの問題（皮膚ガン）、大気汚染、海洋汚染、二酸化炭素・地球砂漠化・核・原子力発電・環境ホルモンの問題等々、このまま進めば人類は自分で自分の首を絞めて死に至るでしょう。

愚かな二〇世紀の姿です。

◆ 二一世紀の課題は明かです。戦争と環境破壊の「死に至る病」を根本的に治療することです。それは二〇世紀と正反対の平和と自然保護の「生命に至る道」へと方向転換することです。まず、全世界の軍備を全廃して、年間一五〇兆円の大金を、毎年、平和・福祉・食料・南北問題・環境問題解決のため

に回せば、二一世紀の中頃には「生命に至る道」へ戻れるでしょう。

二一世紀は招いている！

軍備なき 平和と共生の生命に至る世界を！

二〇〇〇年十二月十日（日）第四〇六回・憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会

事務局 浜松市紺屋町三〇一〜十五